

■ 飯田市公共施設等総合管理計画 新旧対照表

新		旧	
飯田市公共施設等総合管理計画		飯田市公共施設等総合管理計画	
	平成28年12月策定 <u>令和5年3月改訂</u>		平成28年12月策定
はじめに	1	はじめに	1
I 概要		I 概要	
1 計画の目的	2	1 計画の目的	2
2 計画の対象施設	2	2 計画の対象施設	2
3 計画の位置付け	3	3 計画の位置付け	3
4 計画の対象期間	3	4 計画の対象期間	3
5 施設の状況年月日	3	5 施設の状況年月日	3
II 建物施設の現状について		II 建物施設の現状について	
1 建物施設の保有状況	4	1 建物施設の保有状況	4
2 建物施設の築年別の状況	5	2 建物施設の築年別の状況	5
III インフラ施設の現状について		III インフラ施設の現状について	
1 インフラ施設の保有状況	6	1 インフラ施設の保有状況	6
2 インフラ施設の築年別の状況	7	2 インフラ施設の築年別の状況	7
IV 病院施設の現状について		IV 病院施設の現状について	
1 病院施設の保有状況	11	1 病院施設の保有状況	11
2 病院施設の築年別の状況	11	2 病院施設の築年別の状況	11
V 将来の更新費用について		V 将来の更新費用について	
1 建物施設の将来更新費用の試算	12	1 建物施設の将来更新費用の試算	12
2 インフラ施設の将来更新費用の試算	13	2 インフラ施設の将来更新費用の試算	13
3 建物施設+インフラ施設の将来更新費用の試算	14	3 建物施設+インフラ施設の将来更新費用の試算	14
VI 飯田市の人口について	15	VI 飯田市の人口について	15

VII 飯田市の財政状況の推移について	……	16	VII 飯田市の財政状況の推移について	……	16
VIII 公共施設等の管理の基本的な考え方			VIII 公共施設等の管理の基本的な考え方		
1 建物施設について	……	17	1 建物施設について	……	17
2 インフラ施設について	……	<u>22</u>	2 インフラ施設について	……	<u>21</u>
3 病院施設について	……	<u>24</u>	3 病院施設について	……	<u>23</u>
4 本計画の充実を図るための方針	……	<u>25</u>			
IX フォローアップの実施方針	……	<u>26</u>	IX フォローアップの実施方針	……	<u>24</u>
用語集	……	<u>27</u>	用語集	……	<u>25</u>

はじめに

本市では、経済の高度成長や人口の増加、多様化する市民ニーズ等に対応するために、多くの公共施設等(※1)を整備してきました。これらの施設は、住民福祉の向上・地域コミュニティの形成、福祉・高齢者交流支援などそれぞれの目的に応じて活用されるとともに、生活・産業の基盤施設としての役割を果たしています。

しかしながら、少子高齢化社会の進展や人口減少社会を迎える中で、建物施設(※2)については、施設の6割が築30年以上経過し、今後、老朽化に伴う更新・改修コストの増加が避けられない状況となっています。また、飯田市の財政状況は市税の大幅な伸びが期待できない中、少子高齢化に伴う社会保障関係経費が年々増加しており、非常に厳しい状況にあります。

このような状況にあって、平成26年4月、国は全ての自治体に対し、保有する全ての公共施設等を対象とした「公共施設等総合管理計画」を策定するよう要請しました。

本市では、建物施設を対象に施設の現状と課題を分析し、効率的かつ効果的な維持修繕による施設の長寿命化や管理運営の見直しなど施設保有量の最適化を進めるため、平成27年3月に「飯田市公共施設マネジメント基本方針」(以下、「基本方針」という。)を策定し、基本的な考え方、推進方策、推進体制などを定めました。

一方、基本方針にて対象としていない、道路、上下水道、橋りょうなどのインフラ施設(※3)や病院施設(※4)についても、施設の老朽化対策など計画的な維持改修等の実施が大きな課題となっています。

これらのことを踏まえ、平成28年12月に策定した「飯田市公共施設等総合管理計画」は、既に方針が決定している建物施設の基本方針に、インフラ施設と病院施設の現状と課題及び今後の取組を加え、その考え方をとりまとめたものです。

また、国は、公共施設の適正管理の更なる推進のため「公共施設等総合管理計画」を令和5年度までに改訂するよう指針を示し、本市は、令和5年3月に本計画の一部を改訂しました。

本計画により、本市の公共施設等の状況を把握するとともに、施設毎の個別施設計画により、更新・統廃合・長寿命化などについて計画的な取組を進めていきます。

はじめに

本市では、経済の高度成長や人口の増加、多様化する市民ニーズ等に対応するために、多くの公共施設等(※1)を整備してきました。これらの施設は、住民福祉の向上・地域コミュニティの形成、福祉・高齢者交流支援などそれぞれの目的に応じて活用されるとともに、生活・産業の基盤施設としての役割を果たしています。

しかしながら、少子高齢化社会の進展や人口減少社会を迎える中で、建物施設(※2)については、施設の6割が築30年以上経過し、今後、老朽化に伴う更新・改修コストの増加が避けられない状況となっています。また、飯田市の財政状況は市税の大幅な伸びが期待できない中、少子高齢化に伴う社会保障関係経費が年々増加しており、非常に厳しい状況にあります。

このような状況にあって、平成26年4月、国は全ての自治体に対し、保有する全ての公共施設等を対象とした「公共施設等総合管理計画」を策定するよう要請しました。

本市では、建物施設を対象に施設の現状と課題を分析し、効率的かつ効果的な維持修繕による施設の長寿命化や管理運営の見直しなど施設保有量の最適化を進めるため、平成27年3月に「飯田市公共施設マネジメント基本方針」(以下、「基本方針」という。)を策定し、基本的な考え方、推進方策、推進体制などを定めました。

一方、基本方針にて対象としていない、道路、上下水道、橋りょうなどのインフラ施設(※3)や病院施設(※4)についても、施設の老朽化対策など計画的な維持改修等の実施が大きな課題となっています。

これらのことを踏まえ、今回策定する「飯田市公共施設等総合管理計画」は、既に方針が決定している建物施設の基本方針に、インフラ施設と病院施設の現状と課題及び今後の取組を加え、その考え方をとりまとめたものです。

本計画により、本市の公共施設等の状況を把握するとともに、施設毎の個別施設計画により、更新・統廃合・長寿命化などについて計画的な取組を進めていきます。

I 概要

- 1 計画の目的
(略)
- 2 計画の対象施設
(略)

I 概要

- 1 計画の目的
(略)
- 2 計画の対象施設
(略)

公共施設

建物施設 飯田市公共施設マネジメント基本方針(平成 26 年度)

- ・庁舎等 ・消防防災施設 ・最終処分場 ・火葬施設
- ・小学校、中学校 ・調理場 ・図書館
- ・教職員住宅 ・文化施設 ・地区公民館 ・スポーツ施設
- ・保育園、幼稚園 ・障がい児支援施設 ・母子生活支援施設
- ・高齢者等福祉施設 ・診療所 ・産業振興、観光施設
- ・市営住宅 ・地域振興住宅 ・福祉住宅 など

インフラ施設

- ・道路 【飯田市舗装長寿命化修繕計画】(平成 28 年度)
- ・道路 【飯田市道路附属物長寿命化修繕計画】(令和 3 年度)
- ・道路 【飯田市道路法面長寿命化修繕計画】(策定予定)
- ・橋りょう 【飯田市橋梁長寿命化修繕計画】(平成 24 年度)
- ・トンネル 【飯田市トンネル長寿命化修繕計画】(令和 3 年度)
- ・林道(橋りょう) 【林道橋梁保全整備計画(橋梁長寿命化修繕計画)】
(平成 27 年度)
- ・林道(トンネル) 【飯田市林道トンネル保全整備計画】(策定予定)
- ・公園 【飯田市公園施設長寿命化計画】(平成 26 年度)
- ・水道施設 【第 3 次飯田市水道ビジョン】(令和 4 年度)
- ・下水道施設 【飯田市下水道ビジョン】(令和 2 年度)
- ・農業用施設 【飯田市用水路長寿命化修繕計画】(令和 4 年度)
- ・農業用施設 【飯田市ため池長寿命化計画】(策定予定)

病院施設

- ・市立病院 ・医師住宅等 ・介護老人保健施設(高松診療所含む)
【飯田市病院施設等長寿命化計画】(令和 4 年度)

公共施設

建物施設 飯田市公共施設マネジメント基本方針(平成 26 年度)

- ・庁舎等 ・消防防災施設 ・最終処分場 ・火葬施設
- ・小学校、中学校 ・調理場 ・図書館
- ・教職員住宅 ・文化施設 ・地区公民館 ・スポーツ施設
- ・保育園、幼稚園 ・障がい児支援施設 ・母子生活支援施設
- ・高齢者等福祉施設 ・診療所 ・産業振興、観光施設
- ・市営住宅 ・地域振興住宅 ・福祉住宅 など

インフラ施設

- ・道路 【飯田市舗装長寿命化修繕計画】(平成 28 年度)
- ・橋りょう 【飯田市橋梁長寿命化修繕計画】(平成 24 年度)
- ・河川 【飯田市準用河川維持管理計画】(策定予定)
- ・林道(橋りょう) 【林道橋梁保全計画(橋梁長寿命化修繕計画)】
(平成 27 年度)
- ・公園 【飯田市公園施設長寿命化計画】(平成 26 年度)
- ・上水道施設 【飯田市水道ビジョン(長期整備計画)】(平成 19 年度)
- ・下水道施設 【第 1 次飯田市下水道事業経営計画】(平成 26 年度)
- ・農業用施設 (個別施設計画検討中)

病院施設

- ・市立病院 ・医師住宅等 ・介護老人保健施設(高松診療所含む)
【飯田市立病院中期計画】(平成 25 年度)

<p>3 計画の位置付け (略)</p> <p>4 計画の対象期間 (略)</p> <p>5 施設の状況年月日 (略)</p>	<p>3 計画の位置付け (略)</p> <p>4 計画の対象期間 (略)</p> <p>5 施設の状況年月日 (略)</p>
<p>II 建物施設の現状について（病院施設についてはIVにて別途表記） (略)</p>	<p>II 建物施設の現状について（病院施設についてはIVにて別途表記） (略)</p>
<p>III インフラ施設の現状について (略)</p>	<p>III インフラ施設の現状について (略)</p>
<p>IV 病院施設の現状について (略)</p>	<p>IV 病院施設の現状について (略)</p>
<p>V 将来の更新費用について (略)</p>	<p>V 将来の更新費用について (略)</p>
<p>VI 飯田市の人口について (略)</p>	<p>VI 飯田市の人口について (略)</p>
<p>VII 飯田市の財政状況の推移について (略)</p>	<p>VII 飯田市の財政状況の推移について (略)</p>
<p>VIII 公共施設等の管理の基本的な考え方</p>	<p>VIII 公共施設等の管理の基本的な考え方</p>

1 建物施設 について
(飯田市公共施設マネジメント基本方針より)

(1) 公共施設マネジメントの基本的な考え方
(略)

(2) 公共施設管理の基本原則

暮らしやすい地域づくりの推進

より良い市民サービスの提供

財政負担の軽減

(略)

(3) 公共施設マネジメント基本方針
次の5つの方針に基づいて公共施設マネジメントを推進して
いきます。

基本方針1：適正な維持管理による公共施設の長寿命化の推進

(略)

基本方針2：施設の集約化・多機能化等の推進

(略)

基本方針3：施設の廃止・売却の推進

(略)

1 建物施設 について
(飯田市公共施設マネジメント基本方針より)

(1) 公共施設マネジメントの基本的な考え方
(略)

(2) 公共施設管理の基本原則

暮らしやすい地域づくりの推進

より良い市民サービスの提供

財政負担の軽減

(略)

(3) 公共施設マネジメント基本方針
次の5つの方針に基づいて公共施設マネジメントを推進してい
きます。

基本方針1：適正な維持管理による公共施設の長寿命化の推進

(略)

基本方針2：施設の集約化・多機能化等の推進

(略)

基本方針3：施設の廃止・売却の推進

(略)

基本方針 4：民間活力の導入

(略)

基本方針 5：新規施設の考え方

(略)

- (4) 公共施設マネジメントの具体的な実施内容
(略)
- (5) 公共施設マネジメントの庁内体制
(略)

(6) 建物施設の個別施設計画

個別施設ごとの具体的な対応方針を掲げた個別施設計画を策定し、それぞれの対応方針に沿った取組の進行管理を行います。
(策定した個別施設計画は市ホームページに掲載しています。)

① 保育施設及び高齢者施設

保育施設及び高齢者施設については、第二次子育て応援プラン（令和2年度から令和6年度）及び高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画（令和3年度から令和5年度）を実現するための施設整備を行います。

また、保育施設及び高齢者施設等における現状や課題を整理した上で、これまでの改築中心の事後保全的な改修から、予防保全的な改修を実施することで施設の長寿命化を図るとともに、社会福祉施設の利用者のニーズに対応するために必要な改修を計画的に実施することで、施設利用環境の改善を図ります。

基本方針 4：民間活力の導入

(略)

基本方針 5：新規施設の考え方

(略)

- (4) 公共施設マネジメントの具体的な実施内容
(略)
- (5) 公共施設マネジメントの庁内体制
(略)

② 市営住宅等

市営住宅等については、既存ストックの状況把握及び維持管理の方針に基づき、劣化状況を的確に把握し、計画的な修繕等により、予防保全的な維持管理を行います。

また、長寿命化及びライフサイクルコストの縮減に関する方針に基づき、適切な事業手法を選定し、住宅供給目標戸数を踏まえた建替事業等を計画的に行うことにより、長寿命化及びライフサイクルコストの縮減を図ります。

③ 教育委員会公共施設

飯田市教育委員会が所管する施設は、市全体の約 60%以上（面積比率による。）の割合を占めており、施設の多くが築 30 年以上経過しているため、施設の維持費や更新という避けられないコストの増加に対して、どのように対応していくかを早急に計画する必要があります。

教育委員会施設における現状と課題を分析した上で、計画的な施設改修を実施することで施設の長寿命化を図るとともに、施設利用者のニーズに対応するために必要な改修を計画的に実施することで、施設利用環境の改善を図ります。

【個別施設計画】

- ・飯田市保育施設及び高齢者施設等長寿命化計画（令和 4 年 8 月策定）
- ・飯田市公営住宅等長寿命化計画（令和 2 年 3 月策定）
- ・飯田市教育委員会公共施設等総合管理計画（令和 3 年 3 月策定）

2 インフラ施設について

(1) インフラ施設の基本的な考え方

インフラ施設は、市民生活にとって重要性が高く、また、建物施設のように、統廃合や複合化といった対応が極めて困難であり、経費縮減余地の極めて少ない施設です。

インフラ施設に対する取組については、国が策定した「インフラ長寿命化基本計画」に基づき、種別（道路・橋りょう、河川、林道、公園、水道、下水道、農業用施設）ごとに策定する個別施設計画により対応していきます。

各種別施設の特性に応じた取組により、長寿命化や耐震化及びライフサイクルコストの縮減などを図り、安心・安全な市民生活の確保につなげます。

また、個別施設計画の策定にあたっては、既存計画との整合に留意し、施設の劣化状況等を踏まえた対策の優先順位を検証するとともに、適切なメンテナンスサイクルの構築を図ります。

(策定した個別施設計画は市ホームページに掲載しています。)

(2) 各インフラ施設の取組状況及び個別施設計画

① 道路・橋りょう・河川

道路、橋りょう及び河川は、ライフサイクルコストの縮減や財政負担の標準化を行うため、その管理の方法の確立や定期的に現状を把握するための点検診断が必要となります。今後は、施設の重要性や整備の優先順位を総合的に判断し、修繕を行う基準を定めるなど、個別施設計画を策定し、予防保全的な維持管理を進めます。

2 インフラ施設について

(1) インフラ施設の基本的な考え方

インフラ施設は、市民生活にとって重要性が高く、また、建物施設のように、統廃合や複合化といった対応が極めて困難であり、経費縮減余地の極めて少ない施設です。

インフラ施設に対する取組については、国が策定した「インフラ長寿命化基本計画」に基づき、種別（道路・橋りょう、林道、公園、上水道、下水道、農業用施設）ごとに策定する個別施設計画により対応していきます。

各種別施設の特性に応じた取組により、長寿命化や耐震化及びライフサイクルコストの縮減などを図り、安心・安全な市民生活の確保につなげます。

また、個別施設計画の策定にあたっては、既存計画との整合に留意し、施設の劣化状況等を踏まえた対策の優先順位を検証するとともに、適切なメンテナンスサイクルの構築を図ります。

(策定した個別施設計画は市ホームページに掲載しています。)

(2) 各インフラ施設の取組状況及び個別施設計画

① 道路・橋りょう

道路及び橋りょうは、ライフサイクルコストの縮減や財政負担の標準化を行うため、その管理の方法の確立や定期的に現状を把握するための点検診断が必要となります。今後は、施設の重要性や整備の優先順位を総合的に判断し、修繕を行う基準を定めるなど、個別施設計画を策定し、予防保全的な維持管理を進めます。

【個別施設計画】

- ・【飯田市舗装長寿命化修繕計画】（平成 28 年 4 月策定）
- ・【飯田市橋梁長寿命化修繕計画】（平成 25 年 3 月策定）
- ・【飯田市トンネル長寿命化修繕計画】（令和 4 年 2 月策定）
- ・【飯田市道路附属物長寿命化修繕計画】（令和 4 年 3 月策定）
- ・【飯田市道路法面長寿命化修繕計画】（策定予定）
- ・【飯田市準用河川維持管理計画】（策定予定）

- ② 林道（橋りょう）
（略）

【個別施設計画】

- ・林道橋梁保全整備計画（橋梁長寿命化修繕計画）（平成 27 年 5 月策定）
- ・飯田市林道トンネル保全整備計画（策定予定）

- ③ 公園
都市公園は、昭和 43 年から平成 21 年度までに市内 36 箇所を整備しており、施設によっては、老朽化が進んでいます。施設の点検調査、計画的な改修及び長寿命化を進めるため、長寿命化計画を着実に推進し、ライフサイクルコストの削減、国の支援事業を考慮した財政負担の標準化を行います。
都市公園以外の公園についても、必要な改修を計画的に進めていく必要があります。

【個別施設計画】

- ・飯田市公園施設長寿命化計画（平成 26 年 5 月策定）

- ④ 水道
令和 3 年度末の区域内普及率が 99.3%となっている水道事

【個別施設計画】

- ・飯田市舗装長寿命化修繕計画（平成 28 年 4 月策定）
- ・飯田市橋梁長寿命化修繕計画（平成 25 年 3 月策定）
- ・飯田市道路法面長寿命化修繕計画（平成 32 年度までに策定予定）
- ・飯田市道路附属物長寿命化修繕計画（平成 32 年度までに策定予定）

※道路には、農道、トンネルを含む

- ② 林道（橋りょう）
（略）

【個別施設計画】

- ・林道橋梁保全整備計画（平成 27 年 5 月策定）
- ・林道トンネル保全整備計画（平成 29 年度までに策定予定）

- ③ 公園
都市公園は、昭和 43 年から平成 21 年度までに市内 36 箇所を整備しており、施設によっては、老朽化が進んでいます。施設の点検調査、計画的な改修及び長寿命化を進めるため、長寿命化計画を着実に推進し、ライフサイクルコストの削減、国の支援事業を考慮した財政負担の標準化を行います。
都市公園以外の公園についても、必要な改修を計画的に進めていく必要があります。

【個別施設計画】

- ・飯田市公園施設長寿命化計画（平成 26 年 5 月策定）

- ④ 上水道
平成 25 年度末の区域内普及率が 98.9%となり、施設の整備は

業は、集中投資が行われた拡張期から 40 年以上が経過し、施設の老朽化が顕在化する中、本格的な更新の時代を迎えます。安全安心な水道水を安定供給のため第 3 次水道ビジョン（令和 4 年 11 月策定）及び水道施設更新に係る基本方針に基づき、統合・廃止・ダウンサイジング等を検証し、更新や耐震化等長期にわたる建設改良を着実に進めます。

【個別施設計画】

・飯田市水道事業経営戦略（改訂予定）

⑤ 下水道

平成 25 年度末既成した下水道事業は、下水道経営計画（平成 26 年 3 月策定）により整備から維持管理にシフトし、管路や施設の劣化状況に合わせたリスク管理・耐震化・施設の最適化や統廃合等を踏まえた「飯田市下水道ビジョン」を令和 3 年 3 月に策定しました。公共用水域の水質保全のため安定したサービス提供と健全経営を確保し快適なまちづくりを進めます。

【個別施設計画】

・飯田市下水道事業経営戦略（令和 3 年 3 月策定）

⑥ 農業用施設（用水路・ため池）

農業用水路及びため池は、農業用水の確保や地域の防災・減災といった公益的な役割を果たしており、高度成長期に整備された施設が多く、老朽化が進んでいます。今後、計画的な改修及び施設の長寿命化を進める必要があります。

建設から維持管理へとシフトしており、今後は、施設の改修・更新事業を進めることとなります。特に、浄水場・配水地等については、老朽化が進んでおり、経営状況に見合った施設の更新計画を進める必要があります。

【個別施設計画】

・飯田市水道ビジョン（長期整備計画）（平成 19 年 9 月策定）
※
・飯田市水道事業経営戦略（平成 28 年度策定予定）

※平成 28 年度見直し予定

⑤ 下水道

平成 25 年度末で管路整備が概ね完了し、下水道普及率（水洗化できる状態の人口割合）100%を達成し、今後は、「整備拡大」から「計画的な維持管理」を進めていくこととなります。「第 1 次飯田市下水道事業経営計画」に基づき、管路・施設の長寿命化・耐震化の実施、処理場の統合等の検討を行い、安定した経営を確保するとともに、公共用水域の水質保全と安全・安心で快適なまちづくりを進めていく必要があります。

【個別施設計画】

・第 1 次飯田市下水道事業経営計画（平成 26 年 3 月策定）
・飯田市下水道事業経営戦略（平成 28 年度策定予定）

⑥ 農業用施設（用水路・ため池）

農業用水路及びため池は、農業用水の確保や地域の防災・減災といった公益的な役割を果たしており、高度成長期に整備された施設が多く、老朽化が進んでいます。今後、計画的な改修及び施設の長寿命化を進める必要があります。

【個別施設計画】

- ・飯田市用水路長寿命化修繕計画（令和5年3月策定予定）
- ・飯田市ため池長寿命化計画（策定予定）

3 病院施設について

(1) 病院施設の基本的な考え方

病院施設は、地域において安定した医療・介護の提供を行うために大変重要な役割を果たしています。特に、市立病院は、飯田下伊那地域の医療圏における中核病院として、地域医療の確保と医療水準の向上に努め、地域住民の皆さんに安全・安心で質の高い医療を提供する役割を担っています。また、公営企業として、健全経営を進め、安定的に病院運営を継続していく必要があります。

今後も、地域医療の状況、病院施設としての役割を踏まえながら、中期的な視野に立った経営計画を策定するとともに、健全経営を継続しながら、計画的に必要な施設の整備・改修等の取組みを進めます。

（策定した個別施設計画は市ホームページに掲載しています。）

(2) 病院施設の取組状況及び個別施設計画

① 市立病院（高松診療所、介護老人保健施設含む）

飯田市立病院第4次中期計画（令和4年度から令和9年度）を実現するため、飯田市病院施設等長寿命化計画に基づき、各施設の現状を把握した上で必要な点検個所や修繕計画を明確にすることで施設の長寿命化を図ります。

また、概ねの目標使用年数を設定することにより、維持管理・設備更新・医療機器更新等を計画的に実施し、維持管理・設備更新・医療機器更新等に係るトータルコストの縮減や予算の平準化を進めることにより、安全・安心な施設環境を確保します。

【個別施設計画】

- ・飯田市用水路長寿命化計画（平成32年度までに策定予定）
- ・飯田市ため池長寿命化計画（平成32年度までに策定予定）

3 病院施設について

(1) 病院施設の基本的な考え方

病院施設は、地域において安定した医療・介護の提供を行うために大変重要な役割を果たしています。特に、市立病院は、飯田下伊那地域の医療圏における中核病院として、地域医療の確保と医療水準の向上に努め、地域住民の皆さんに安全・安心で質の高い医療を提供する役割を担っています。また、公営企業として、健全経営を進め、安定的に病院運営を継続していく必要があります。

今後も、地域医療の状況、病院施設としての役割を踏まえながら、中期的な視野に立った経営計画を策定するとともに、健全経営を継続しながら、計画的に必要な施設の整備・改修等の取組みを進めます。

(2) 病院施設の取組状況及び個別計画

① 市立病院（高松診療所、介護老人保健施設含む）

病院施設については、平成4年に市立病院、平成22年に介護老人保健施設及び高松診療所をそれぞれ整備しています。また、市立病院については、必要に応じて施設の改修、増築等を計画的に進めてきています。

市立病院の経営状況は、平成14年度以降、多額の赤字を計上していましたが、「飯田市立病院改革プラン」を策定するなど経営改善を進めた結果、平成21年度以降は継続して、経常黒字を確保しています。

病院事業の継続には、健全経営の取組が大変重要であり、今後も、中期計画の実行、新たな改革プランの策定による着実な経営

【個別施設計画】

- ・ 飯田市病院施設等長寿命化計画（令和4年12月策定）

4 本計画の充実を図るための方針

公共施設マネジメントの基本的な考え方による取組を効果的に推進するため、次の方針に基づき本計画の充実を図ります。

① 維持管理の実施方針

点検・診断等の結果や、修繕・改修等の履歴を集積・蓄積し、本計画（個別施設計画を含む。）の見直しに反映し充実を図るとともに、老朽化対策等に生かします。

② 耐震化の実施方針

公共施設等の耐震改修は、平常時の安全だけでなく、災害時の拠点施設としての機能確保の観点から、引き続き耐震化を進めます。

③ ユニバーサルデザイン化の推進方針

公共施設等の改修、更新等にあたっては、誰もが利用しやすく暮らしやすいまちづくりを目指し、ユニバーサルデザインに対応した施設整備を推進します。

④ 脱炭素化の推進方針

公共施設等を改修、更新等にあたっては、断熱性能の高い材料の使用、省エネルギー性能に優れた機器や太陽光発電施設の導入など、消費エネルギーの省力化及び再生可能エネルギーの導入を推進し、計画的な脱炭素化に努めます。

戦略の取組を進め、健全経営の継続と計画的な施設整備を実施していく必要があります。

【個別施設計画】

- ・ 飯田市立病院中期計画（平成25年4月策定）
- ・ 飯田市立病院新改革プラン（平成28年度策定予定）

IX フォローアップの実施方針
(略)

用語集 (略)

IX フォローアップの実施方針
(略)

用語集 (略)